

日本原子力学会 標準委員会
基盤・応用技術専門部会 放射線遮蔽分科会 遮蔽材料標準作業会
第1回 議事録

1. 日時：平成26年5月9日（火） 10:00～12:00

2. 場所：安藤ハザマ本社 205 会議室

3. 出席者：(10名：敬称略、順不同)

木村（主査、フジタ）、中田（副主査、MNEC）、奥野（幹事、安藤ハザマ）、坂本幸夫（ATOX）、石川（CTC）、月山（日立GE）、坂本浩紀（トランスニュークリア）、上松（東芝）、大石（清水建設）、尾方（MHI）

4. 配付資料：

SMA1-1 標準委員会 放射線遮蔽分科会 遮蔽材料組成標準準備会 議事録

SMA1-2 遮蔽材料組成標準作業会（仮称）の活動方針について R2SC22-5

SMA1-3 標準委員会 放射線遮蔽分科会 遮蔽材料標準作業会基本方針（案）

SMA1-4 基盤・応用技術専門部会における標準策定スケジュール(案) ATC19-5

5. 議事

- ・ 全体スケジュールは、2年後に中間報告、その2年後にレポートとして出す計画である。
- ・ 材料の組成は標準書の規定に書き、解説で線量や水分、2次γ線などについて記述する方針とする。
- ・ 対象とする線源はγ線のみか、中性子も考慮するか等、対象とするエネルギー範囲を最初に決める必要がある。
- ・ 遮蔽材料として、コンクリートを先行して検討を始める事となった。
- ・ 現在、使われているコンクリート組成を用いて、計算コードで感度解析を行う事となった。そのために、まずは各自が所有している公開可能なコンクリート組成データを、1ヶ月後を目処に出して頂く。
- ・ 土壌の組成については、堂野前氏が書かれたレポートを参考とする。

次回作業会 7月4日（金） 15:00～ （場所未定）

以上